

ひがしゆり

HIGASHIYURI

 東由利町

1999

6

NO.531

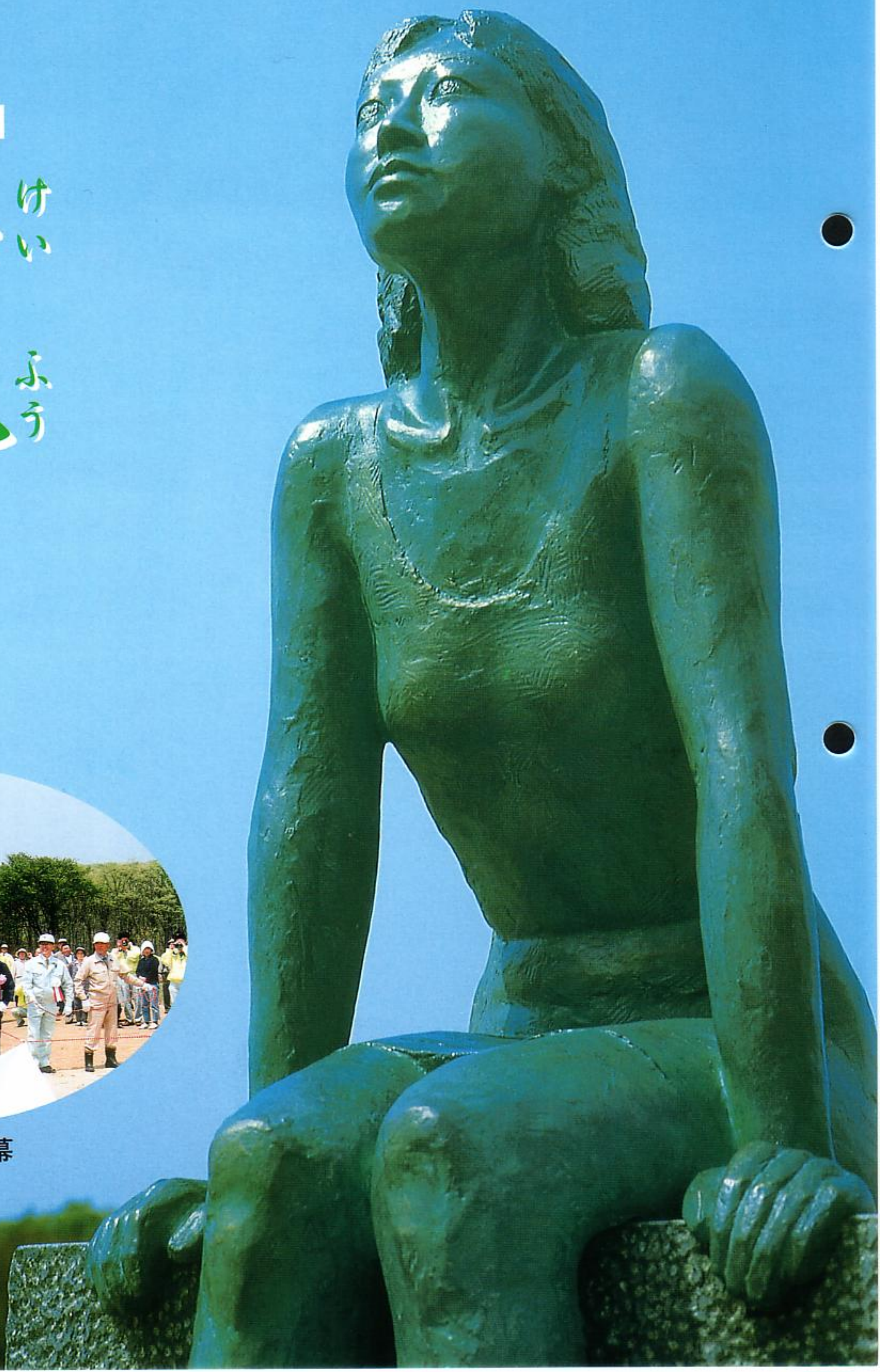
「植樹祭記念モニュメント

恵 けい

風 ふう



植樹祭での除幕



緑を守り 次代へ託す決意新た



第50回 秋田県植樹祭

「育てよう地球の命と未来の夢を」をテーマに第五十回県植樹祭（県緑化推進委員会・東由利町主催）が五月十三日八塩いこいの森地内で開かれました。

天気にも恵まれた当日、町関係者をはじめ、寺田秋田県知事、緑の少年団、県、各市町村、林業関係者など約千六百人が記念式典、黄桜百本と八重桜四百本を植樹した記念植樹などに参加しました。

植樹祭は自衛隊音楽隊による演奏にあわせて緑の少年団入場からスタートしました。

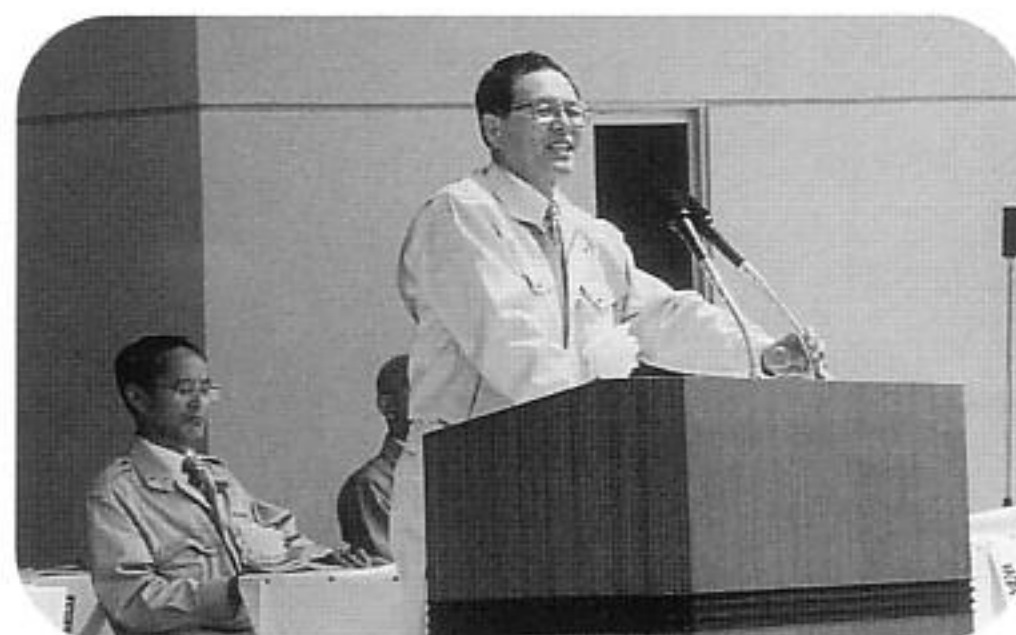
記念式典では、県緑化推進委員会の安杖正義会長が「五十回を数える植樹祭。県民による豊かな緑の森づくりに寄与することとを期待したい」、また、阿部幸悦町長が「これを機会に桜の名所としての八塩いこいの森を木々に親しむ場に、そして秋田県が誇れる場にしたい。また、十年後二十年後のために、この素晴らしい自然という財産を守りたい」とあいさつ。また、来賓の寺田知事が祝辞を述べました。

は、民有林の造林推進に功労があった五団体四個人に知事から感謝状が、県学校関係緑化コンクール入賞校などに各賞がそれぞれ贈られました。（別記）

植樹祭標語最優秀賞の小松田友樹くんの表彰とあいさつの後、阿部剛議会議長が緑を守り育てるための決意を宣言、梅津栄一副議長による万歳三唱をもって式典を閉じました。

記念モノUMENT除幕では、寺田知事、阿部町長らが除幕を行ないました。このモノUMENTは町出身の菊地邦彦氏製作で「恵風」と題されたブロンズ像で、二人の女性がそれぞれ、八塩山と町中心を見つめているものです。（表紙写真）

植樹祭を締めくくめる記念植樹では、町緑の少年団員がキジ七十羽を放鳥した後、参加者が四カ所の植樹会場に桜の苗木五百本を植えました。



▲式典会場には約1,600人が参加

▲記念式典で阿部幸悦町長があいさつ



▲万歳三唱で式典は幕を閉じた



▲寺田秋田県知事と阿部町長による植樹

育てよう 地球の命と 未来の夢を

各表彰一覧 敬称略

●民有林造林推進功労者
▼秋田県知事感謝状

●団体

●永田生産森林組合 組合長 根本完悦・大館市森林整備公社 理事長 大館市長 小畑元・河辺町北野田高屋生産森林組合 組合長 理事 大山久雄・横手市境町財産区 管理者 横手市長 五十嵐忠悦・東成瀬村 平良集落 代表 菊地喜一

●個人

藤田信夫(二ツ井町)・小松栄男(東由利町)・木島忠一(東由利町)・菅原政治(西仙北町)

●秋田県学校関係緑化コンクール入賞校

▼秋田県知事賞

■学校林等活動の部
鷹巣町立竜森小学校・能代市立常盤中学校

■学校環境緑化の部

由利町立前郷小学校・鹿角市立大湯小学校・増田町立増田中学校

▼東北森林管理局長賞

■学校林等活動の部

雄勝町立秋ノ宮小学校
■学校環境緑化の部

鷹巣町立綴子小学校・秋田市立浜田小学校・八郎潟町立八郎潟小学校・横手市立朝倉小学校

横手市立旭小学校・大森町立大森中学校・県立比内養護学校

▼秋田県教育委員会教育長賞

■学校林等活動の部

増田町立増田東小学校
■学校環境緑化の部

鷹巣町立南小学校・峰浜村立塙川小学校・五城目町立富津内小学校・太田町立太田北小学校・大内町立上川大内小学校・男鹿市立男鹿南中学校・県立比内

養護学校鷹巣分校
▼秋田県緑化推進委員会会長賞

■学校林等活動の部

羽後町立高瀬小学校
■学校環境緑化の部

鹿角市立中滝小学校・八竜町立湖北小学校・二ツ井町立二ツ井小学校・五城目町立内川小学校・横手市立金沢小学校・八竜町立八竜中学校・雄物川町立雄物川中学校

▼秋田県森林組合連合会会長賞

■学校環境緑化の部
鹿角市立平元小学校・鹿角市立末広小学校・鹿角市立八幡平小学校・能代市立向能代小学校・男鹿市立男鹿中学校

▼秋田県林業改良普及協会会長賞

■学校環境緑化の部
森吉町立米内沢小学校・能代市立常磐中学校・五城目町立杉沢小・中学校・昭和町飯田川町組合立羽城中学校

▼秋田県花いっぱい運動の会会長賞

■学校環境緑化の部
天王町立東湖小学校・仁賀保町立平沢小学校・男鹿市立男鹿北中学校・太田町立太田東小学校・千畑町立千畑中学校・県立平成高等学校

▼秋田県山林種苗協同組合理事長賞

■学校環境緑化の部
秋田市立明德小学校・仁賀保町立釜ヶ台小学校・秋田市立勝平中学校

●学校植林推進校(「みどりの文庫」贈呈校)

▼小学校の部
鹿角市立十和田小学校山根分校・大館市立上川沿小学校・東由利町立大琴小学校・横手市立境町小学校・雄勝町立秋ノ宮小学校

▼中学校の部

西目町立西目中学校
●秋田県民有林造林コンクール入賞者

▼秋田県緑化推進委員会会長賞

佐々木勲(大内町)・高橋実徳(大森町)

●第五〇回秋田県植樹祭標語入賞者(学年等は応募時)

▼東由利町長賞

■最優秀賞

・「育てよう 地球の命と未来の夢を」東由利中学校二年 小松田友樹

■優秀賞

八塩小六年 渡辺伶奈
高瀬小六年 伊東健司
高瀬小五年 長沼敬晴
高瀬小六年 佐藤秀幸
大琴小六年 長谷山真央

東由利中三年 小野望
東由利中三年 佐藤真理子
東由利中三年 遠藤洋
東由利中三年 高橋有
東由利中三年 遠藤瞬

東由利中一年 遠藤学
東由利中一年 小松信吾
秋田県立本庄高等学校下郷分校一年 小松真弓

東由利町代 長谷山長一
東由利町蔵 阿部栄子



▲学校植林推進校として、知事から大琴小にみどりの文庫が贈呈された

平成十年度 町財政状況

一般会計の収支状況

(平成11年3月31日現在)

(単位：千円)

(歳入)

費目	予算額	収入済額	収入率
町税	286,389	285,723	99.8%
地方譲与税	67,309	67,309	100.0%
利子割交付金	2,217	2,217	100.0%
地方消費税交付金	46,003	46,003	100.0%
特別地方消費税交付金	1	0	0.0%
自動車取得税交付金	31,057	31,057	100.0%
地方交付税	2,288,442	2,340,685	102.3%
交通安全対策特別交付金	1,389	1,389	100.0%
分担金及び負担金	88,517	97,035	109.6%
使用料及び手数料	22,569	21,571	95.6%
国庫支出金	411,361	249,997	60.8%
県支出金	674,302	443,021	65.7%
財産収入	40,626	41,862	103.0%
寄付金	1	0	0.0%
繰入金	72,009	1,964	2.7%
繰越金	172,822	207,792	120.2%
諸収入	46,496	49,100	105.6%
町債	676,900	23,000	3.4%
合 計	4,928,410	3,909,725	79.3%

(歳出)

費目	予算額	執行済額	執行率
議会費	85,646	84,558	98.7%
総務費	646,292	401,296	62.1%
民生費	564,196	475,124	84.2%
衛生費	262,085	162,023	61.8%
労働費	9,583	8,897	92.8%
農林水産業費	1,273,475	1,139,223	89.5%
商工費	17,526	13,764	78.5%
土木費	425,019	371,091	87.3%
消防費	170,991	169,810	99.3%
教育費	497,935	450,915	90.6%
災害復旧費	200,599	77,048	38.4%
公債費	750,047	742,543	99.0%
諸支出金	22,066	21,636	98.1%
予備費	2,950	0	
合 計	4,928,410	4,117,928	83.6%

特別会計の収支状況

(平成11年3月31日現在)

(単位：千円)

区分	予算現計	歳入		歳出	
		収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険事業勘定特別会計	492,838	484,190	98.2%	399,775	81.1%
老人保健医療事業特別会計	649,392	559,665	86.2%	584,924	90.1%
簡易水道事業特別会計	388,536	162,176	41.7%	235,098	60.5%
農業集落排水事業特別会計	745,752	1,257	0.2%	617,768	82.8%
特別養護老人ホーム東光苑特別会計	258,261	186,902	72.4%	242,038	93.7%
大平スキー場運営費特別会計	19,306	7,584	39.3%	15,607	80.8%
玉米財産区特別会計	572	918	160.5%	336	58.7%
合 計	2,554,657	1,402,692	54.9%	2,095,546	82.0%

お知らせします

町家計簿

町では、町民の皆さんに町の財政事情を知っていただくため、条例の規定により財政状況を公表しています。今回は、平成十年度下半期(平成十一年三月三十一日現在)の執行状況の概要をお知らせします。なお、各会計とも、五月三十一日までの収入と支出が加算されたものが決算額となります。

児童手当の現況届けは
お済みですか

次代の社会を担う児童の健全育成などを目的とした児童手当制度をご存じですか。

児童手当は、受給資格があっても認定請求の手続きをしないと受けられない場合があります。支給は認定請求があった翌月分から行なっています。

児童手当を受給している人は六月十八日まで児童の養育状況などを報告することになっています。

前年度、所得税法上、手当を受給できなかった方も、所得更正により新たに受給資格が生じることも考えられます。三歳未満の児童を養育している方は必ず現況届けを提出してください。

児童手当の額は、第一、二子が月額五千円、第三子が月額一万円で、三歳の誕生日の属する月分まで支給されます。主な手続きは、

■出生・転入などにより受給資格が生じた場合▽認定請求書

■他の市町村に住所が変わった場合▽前の市町村へ受給事由消滅届・新しい市町村へ認定請求書

■子どもが生まれたことなどで手当の額が増える場合▽額改定請求書

※請求及び提出は町民課まで
(六六九一一二七)

春の叙勲

本町の2人が 晴れの受章を

長年にわたってその道一筋に励み、功績を残した人に贈られる春の叙勲の受章者が四月二十九日付で発表され、本町からは、川尻幾郎さん（黒淵・地方自治功労）、石渡力造さん（蔵新田・消防功労）の二人が晴れの受章に輝きました。勲五等瑞宝章のお二人の略歴・功績は次のとおりです。

また、時雨山出身で埼玉県白岡町在住の佐藤誠助さん（59）が黄綬褒章を受章されました。

勲五等瑞宝章 地方自治功労



かわしりいくろう
川尻幾郎氏
(76歳・黒淵)

昭和三十九年から東由利町（村）議会議員として連続六期にわたり活躍され、その間、副議長、教育民生委員長などを務められました。また、平成元年に、東由利町功労者表彰を受けられています。

勲五等瑞宝章 消防功労



いしわたりきぞう
石渡力造氏
(68・蔵新田)

昭和二十八年から旧下郷村消防団員として活躍、東由利町消防団分団長、町消防団副団長を経て平成三年から九年まで消防団団長を務められました。また、平成十年に町功労者表彰を受けられています。

消費税及び地方消費税 期限内納付を

消費税及び地方消費税は、最終的には消費者が負担する税です。期限までに納付しましょう。

個人事業者の方は、翌年三月末日までに、所轄の税務署に消費税及び地方消費税の確定申告書を提出するとともに、消費税額と地方消費税額の合計額を納付しなければなりません。納付には便利な振替納税がありますのでご利用ください。（問い合わせは税務課へ）

町長日記

第五十回秋田県植樹祭

五月十三日、八塩いこいの森を会場に「育てよう地球の命と未来の夢を」をメインテーマにした第五十回秋田県植樹祭が開催されました。

野外での会場設定ですから天候の心配もしていたところですが、大変良い天気にも恵まれ、さわやかないい植樹祭になりました。少し残念なことは自慢の黄桜

が満開を過ぎていたことでした。

当日はご来賓として寺田知事さんはじめ、就任されたばかりの安杖県会議長さんも緑化推進委員長ということでご出席いただきました。

また、秋田県町村会長の宮田大瀧村長さんはじめ、六十九市町村からもそれぞれ代表者においでいただき、本当にいい植樹祭になりました。

昨秋完成したステージから、いかにも野外の会場ら

しいと好評だった杉の板のベンチに座る千六百人もの参加者の皆さんにご挨拶申し上げました。

出羽丘陵で一番高い山、八塩山の雪解け水を農業用水として貯水すべく、昭和三十七年に竣工した八塩ダム。「八塩いこいの森」はその周辺に桜を植えたことから始まったこと。

現在、千七百本の桜が植えられていて、その中に間違っって入っていた黄桜が今わが町の大きな財産になり、黄桜の里の所以になっ

ていること。

昭和五十九年、長年「いこいの森」を管理をしていた渡辺与七さんが個人として、また昨年四月には町が団体として「日本さくらの会」から表彰を受けたこと、その際いただいた百本の黄桜と四百本の八重桜合わせて五百本の桜を植樹すること等を申し上げたことです。

そして「桜の苗木には名札をつけており、毎年その開花状況を確かめに来ていただきたい」と申し添えま

した。

会場となった八塩の会場はオートキャンプ場等を現在整備中であり、植樹祭で大勢のご来賓をお迎えするには色々心配なこともありました。秋田県林務部の皆さんはじめ、八塩地区の皆さん、東京東由利会はじめふるさと会の皆さんなど大勢の皆さんのご協力のおかげで本当にいい財産作りができました。ご支援ご協力に心から感謝を申し上げます。

観桜会期間中

五万五千人の人出



第15回 黄桜まつり



▲湖上花火大会で行なわれた水中花火

毎年恒例、町最大のイベント
黄桜まつり。

今年は観桜会を五月一日から
二十日までとし、黄桜まつりを
五月十五日、十六日の両日、八
塩いこいの森で行ないました。
両日ともに晴れ、絶好のまつり
日よりになりました。

昨年の黄桜まつりは異常気象
の影響もあり、黄桜ならぬ葉桜
まつりとなりましたが、今年は
盛りは過ぎたものの、黄桜、八

重桜ともに満開、関係
者、来場客を喜ばせま
した。

十五日、前夜祭とし
て行なわれた湖上花火
大会では、訪れた方々
が夜空と湖上に映る花
火に見入りながら、歓
声をあげていました。

十六日は、黄桜演芸
会、凧あげ大会、雪上
宝さがし、湖上のあて
大会など様々なイベ
ントが行なわれ、春の八塩を楽
しんでいました。

今年のまつりでは、車椅子を
用意するなどたくさんの方が楽
しめる工夫もなされました。出
店数も十六日に二十九店と過去
最高、客足が途切れなかったこ
ともあり、売り切れ店が続出し
ました。

観光協会発表による最終的な
入り込み客は、一日から二十日
までの観桜会を通じて、五万五
千三百人と、昨年の入り込み客
五万三千人を上回る入り込み客
が訪れました。また、まつり両
日で二万六千人、一日から五日



▲雪中宝さがしは皆に人気

までの連休期間中に一万一千五
百人が訪れ八塩の桜を楽しみま
した。

「観桜会を通じ天候もよく、
特に連休中、土、日曜日はかな
りの入り込みがありました。昨
年は葉桜で残念だったが、今年
はたくさんの人に八塩の桜、黄
桜を見てもらえたのではないで
しょうか」と話しています。

今年、植樹祭が行なわれた
ことで、八塩地区が全県に知ら
れ、来年度はオートキャンプ場
等がスタートすることから、八
塩地区の今後が楽しみです。



▲新設された野外広場ステージで黄桜演芸会



▲出店は終日にぎわい、売り切れ店が続出

十六日には、町教育委員会主催、郵便局かんぽ健康増進支援事業の一環として健康ウォークマラソンが行なわれ、参加者は特別ゲストに迎えたマラソン選手の高橋真美さんと桜舞う八塩ダム湖周囲を走りました。

なお、入賞者は次のとおり
(敬称略)

A・小学校男子(二キロ)
一位 佐藤智輝
二位 工藤慎悟
三位 小幡達裕
B・小学校女子(二キロ)
一位 石黒絵理香
二位 佐藤忍

三位 佐藤絢香
C・中学校女子(二キロ)
一位 三浦さとみ
二位 草刈美保
三位 加藤美樹
D・一般女子(二キロ)
一位 鹿子沢歌子
二位 真坂ヤスノ
三位 柴田道子
E・壮年男子(二キロ)
一位 鈴木健悦
二位 原田満
三位 高橋正
F・親子ペア(二キロ)
一位 高橋均・和樹
二位 佐々木克也・啓孝
三位 藤原勉・貴弘

彰
H・中学校男子(四キロ)
一位 田村勝
二位 佐藤心
三位 藤谷弘
I・一般男子(四キロ)
一位 小野貴也
二位 佐藤昭宏
三位 佐貫要
J・一般女子(四キロ)
一位 佐々木千恵子
二位 本間みどり
三位 上杉良子
K・一般男子(九キロ)
一位 吉井照勝
二位 今井裕
三位 森川鉄雄



第12回 健康ウォークマラソン

G・三代トリム(二キロ)
一位 高橋聖紀・鈴子・勇孝
二位 佐々木初美・なおみ・啓



▲深尾真美さんによる講演が行なわれた

東京でふるさと談義に花

東京東由利会総会

本町出身、首都圏在住者で組織されている東京東由利会の第三十七回総会が五月二十三日に都内赤羽会館で行なわれ、百六十余名が出席しました。

東京東由利会は、首都圏在住の東由利出身者の交流と親睦を図ろうと、昭和三十七年に発足した会で、総会は今回で三十

七回目。

総会に先立ち、毎年好評を博している東由利民謡同好会による民謡アトラクションが行なわれ、久しぶりのふるさととの唄声に聞き入りました。

総会では、平成十年度事業報告、決算報告、平成十一年度計画を盛り込んだ議事が話し合われ、いずれも満場一致で承認されました。

役員改選では、遠藤三郎氏から遠藤辰男氏に会長職が引き継がれ、「東由利町を愛しながら、会員相互の親睦と連携

を図っていききたい」とあいさつしました。

また、当日来賓として出席した阿部幸悦町長、阿部剛議長、梅津栄一副議長、阿部長悦J A秋田しんせい東由利支所長がそれぞれあいさつ。阿部町長が町政報告として植樹祭、昨年度の施策などに触れた後、「どこに住んでいても町を思う気持ちは一つ。各地でがんばりましょう」と激励しました。

懇親会では、会長あいさつ、乾杯に引き続き、祝宴が行な

われ、出席した会員は思い思いの近況報告をすると同時に懐かしいふるさと談義に花を咲かせていました。

また、還暦の会、各地区同級会など即席の集いが行なわれ、各々が写真撮影など行なっていました。

「年に一度のこの会に出席することで故郷を思い出す。年を重ねるたびにこの会がかげがえのないものになっていくようにでした。各々に刻まれた故郷の思い出を胸に、来年の再会を誓い合いました。

当日の一枚から



続・畜魂

～つれづれの記

第2話「はんごろしにされた牛」

鈴木龍太郎・文

しよっぱなから物騒な題名ですが、そのいきさつは次のとおりです。

古い話ですが、平成二年は盆過ぎのある日、お日様が西へ沈もうとしている時、巡回指導の帰りK集落にさしかかると畔に佇んで田圃を見ている中川（仮名）さんがいた。久しぶりなので車から降り「稲の出来具合はなんたもんだしか？」と尋ねると「まずまずだな」と答が返ってきた。それをきつかけに雑談していたが、突然中川さんが「おめだち牛を半殺しにして治したて本当だが」と相反する単語が混じる言葉で問いかけてきた。急のことなので判断が付きかねた。一寸考えたがわからない。「誰の牛だ」

と聞き返したところ「小淵（仮名）さんのだ」と言われて思いついた。一カ月程前、金田獣医師（当時、共済駐在）より「小淵さんの子牛がビッコなのでみにくが手伝ってくれ」と言われ野次馬根性の旺盛な私は二つ返事で先生のあとにくっついていった。

ビッコをひいているのは生後七カ月の「おす」で發育良好にして、血統もよく小淵さんが子牛市場では高値が付くだろうと楽しみにし、可愛がつている子牛である。

金田先生がいろいろ調べていたが、どうも右の後足の蹄の裏が痛い。その力で蹴り上げてくる。数回ためしたが足上げは成功しない。相談して麻酔をかけることにした。

私「牛を薬でねがせるから」小淵さん「大丈夫だが？」私「金田先生にまかせておけば心配ね。牛も痛くないしおとなしくなる」

小淵さん「そしたらもつと早くやったらえがったべ」

と、お前たち今まで何をしていたと言わんばかりの冷たい眼をされ

たが仕方がない。

とにかく麻酔薬を注射して眠らせ蹄の裏をみると先生の予想どおり釘を踏んで出来た傷が化膿していたので手早く手当をし、一件落着いた。

私達二人はなんとなくホッとした。子牛は気持ち良さそうに眠っている。

ただ小淵さんはしゃがんで心配そうに子牛の首を撫でている。その姿には満州（今の中国東北地方）帰りで豪放で、もの負けせず、理論家である小淵さんに似合わぬ内に隠された優しさを垣間見た気がした。

小淵さん「牛のやつ、大丈夫だべか？」

先生「大丈夫だ。もうすこしたてば眼がさめるから」小淵さん「半殺しされたようなもんだしな」

私達「……」子牛のビッコは一週間位ですっかりなおった。

小淵さんから話を聞いた中川さんはそのことを「半殺しにして治した」と端的にして簡明に表現したがいきなり言われると迷ってしまつた。

さりながら私は「全身麻酔」よりも「半殺し」の方が牛に似合う言葉かなと思ったりして苦笑した。

林業だより

ブナという木

八塩いこいの森の黄桜の蕾がふくらむ五月になると、残雪の八塩山頂から中腹にかけて鮮やかな緑葉を展開しはじめるのがブナの木です。ブナの木は、自然生態系の保護という思想のなかで、にわかに脚光を浴びるようになりました。

八塩山に登山された人達は、ブナの林相の美しさに心を打たれ、安らぎの気持ちになると思います。そしてブナの森を大切にしなければという心が生まれてくると思います。

ブナの木は優しい姿をしています。ブナの一生をみると、タネから発芽した幼苗や幼木は、ハタネズミやノウサギの食害や土壌病原菌の被害によって、一〇年、二〇年となる樹木は極くわずかなります。しかし、二〇年以上になると他の広葉樹と共存しながら活発な生長を続け、多くの昆虫や動植物の住み家となり、一方では落葉が堆積してスポンジ状となって、雨水を吸収して緑のダムの役割を果たしています。

（町林業懇話会会長 佐藤恒悦氏）

東由利・成立

区分	頭数	平均体重	平均価格	Kg当単価
去勢	32	303kg	463,313	1,459
雌	27	278kg	340,822	1,163
合計	59	292kg	407,258	1,314

●最高金額 去勢 596,400 北国7の8 福谷1 城芳14
●最高金額 雌 516,600 北国7の8 宮桜 福谷1

五月家畜市場

木材共販市況

（平成十一年五月・平均価格）
四五年生から五五年生

径級	単価（石）	備考
直材30cm上	—円	
24~28cm	5,100円	
14~22cm	5,000円	
13cm下	2,800円	
曲り材	2,000~2,800円	

14cmから20cm（柱材）24cm上（中目材）の欠点のないものについては完売。石100円程度のアップか横バイの状態。製品市況の好転を期待している。



▲総会で桐栽培組合の解散が決定した

桐栽培組合解散総会

景気回復のきざしが見えない中、全国桐材組合連合会が四十年の歴史に終止符をうつなど桐産業も厳しい状況が続いています。

それを受ける形で、五月二十日には東由利町桐栽培組合第十三回総会が湯楽里で開催され、同組合の解散が正式に決定しました。

平成十年度収支決算の承認に引き続き行なわれた解散についての議事では、経緯、清算方法などが話し合われ、出席した組合員の皆さんは長い間の活動を振り返っていました。

桐組合が長い歴史に終止符



▲放牧前の体重測定

牧ノ木沢放牧場開牧

五月二十五日、小雨降る中、町営朴ノ木沢放牧場が開牧されました。

これは、緑豊かな放牧場でよりよい質の牛を育てようと毎年行なわれているもの。体重などが計られたあと放牧された牛たちは、元氣よく場内を走り回り草を食っていました。

当日放牧された牛は、ホルスタイン種十三頭、ジャージー種十頭、黒毛和種五頭の合計二十八頭。

牛たちは、この後、十一月まで十分な粗飼料が確保された約十二ヘクタールの草地の中で育てられます。

緑豊かな自然で良い牛に



▲八塩小での番組製作

AKT東由利町特別番組

このたび植樹祭を中心に全県に東由利町を紹介しようと三十分の特別番組を製作しました。

この番組はAKTアナウンサーの塩田耕一氏を案内役に県植樹祭、黄桜まつりが行なわれた八塩いこいの森、道の駅、特産品紹介等を盛り込んだものです。五月十二日には八塩小学校児童の皆さんが出演、番組に花をそえました。

なお、放送日は六月五日午後〇時三十分です。放送後は各分館にテープを配付しますので、ご活用下さい。

全県にテレビでアピール



▲八塩山頂で記念撮影

八塩ふれあい登山

二十一回を数える八塩ふれあい登山が五月二十三日行なわれ、町内二十八人、町外二十八人の合計五十六人が参加、新緑あふれる八塩の自然に親しみながら元氣に頂上をめざしました。

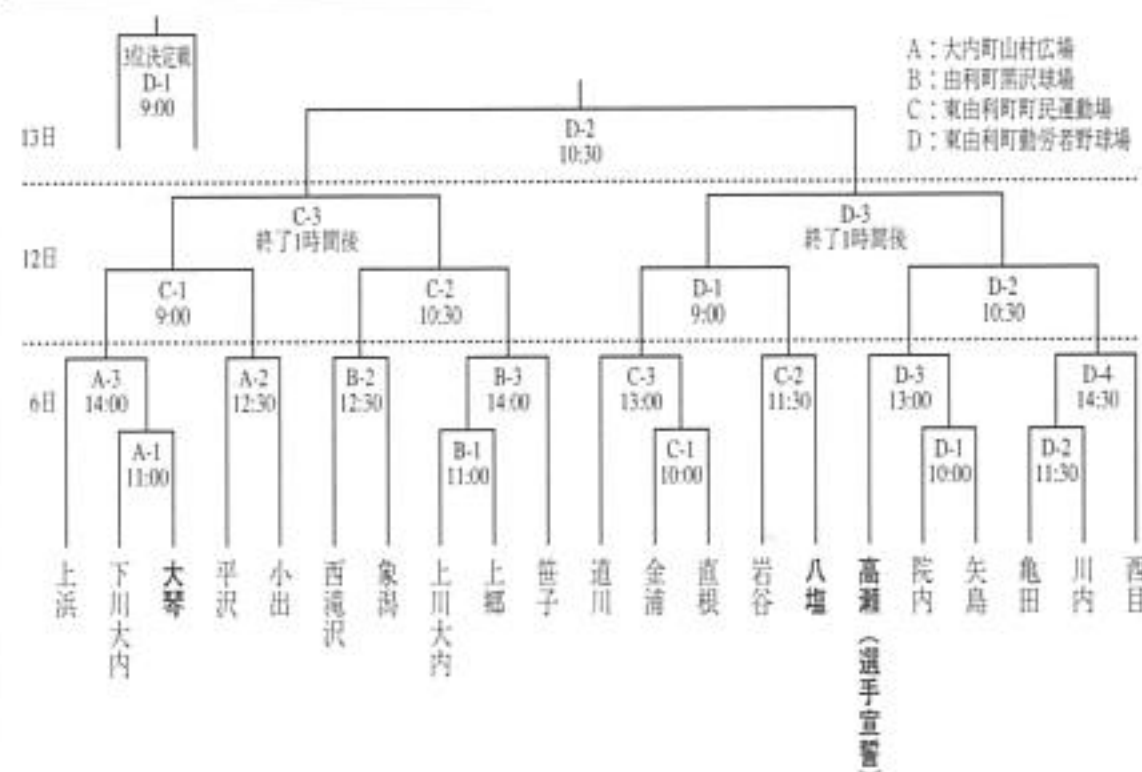
同山は、一時間程度の時間があれば、ゆっくりと頂上まで登れるということもあり、年齢を問わず気軽に登山気分が味わえるとして、町内外からも好評を得ている山です。

「運動になり、気分も爽快に」と参加者の皆さんは満足気でした。

新緑楽しみ頂上目指す

町のあっち、こっちから

第4回由利郡学童野球大会組合せ



第8回ナイター野球大会組合せ

(6月1日～)

(07/10)

A代表

B代表

C代表

D代表

※試合は大会
最終日の予定

Aブロック

	①	②	③	④
①		1日	8日	17日
②	1日		18日	9日
③	8日	18日		2日
④	17日	9日	2日	

Bブロック

	⑤	⑥	⑦
⑤		3日	10日
⑥	3日		21日
⑦	10日	21日	

Cブロック

	⑧	⑨	⑩	⑪
⑧		4日	14日	22日
⑨	4日		23日	15日
⑩	14日	23日		31日
⑪	22日	15日	31日	

Dブロック

	⑫	⑬	⑭
⑫		7日	16日
⑬	7日		24日
⑭	16日	24日	

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
野球狂	玉新ラインズ	ジバンゲ	役場	ルビコン	ポバイ	袖山	高瀬	パワーズ	宿	蔵	法内	モンスタース	シリユウス

各野球大会組み合わせ

六月は各野球大会が町で行なわれます。

熱戦を繰り広げた招待野球

町招待中学校野球大会



▲熱戦を繰り広げた野球大会

絶好の野球日和だった五月二十三日、第十八回町招待中学校野球大会が町勤労者野球場で行なわれました。この大会は、他市町村の中学校野球部を招待して毎年行なっている大会です。当日は、鳥海中学校、横手南中学校、本荘北中学校の三校が参加、熱戦を繰り広げました。

東中は第一試合、鳥海中を八対一でくだし、勝利を収め決勝進出。決勝では四対一で惜しくも敗退したものの、実力のほどは上々。今後の活躍がなお一層期待されます。

春・桜吹雪の中で



▲高瀬小学校



▲八塩小学校



▲大琴小学校

各小学校運動会
(写真で紹介)

東由利文化クラブ

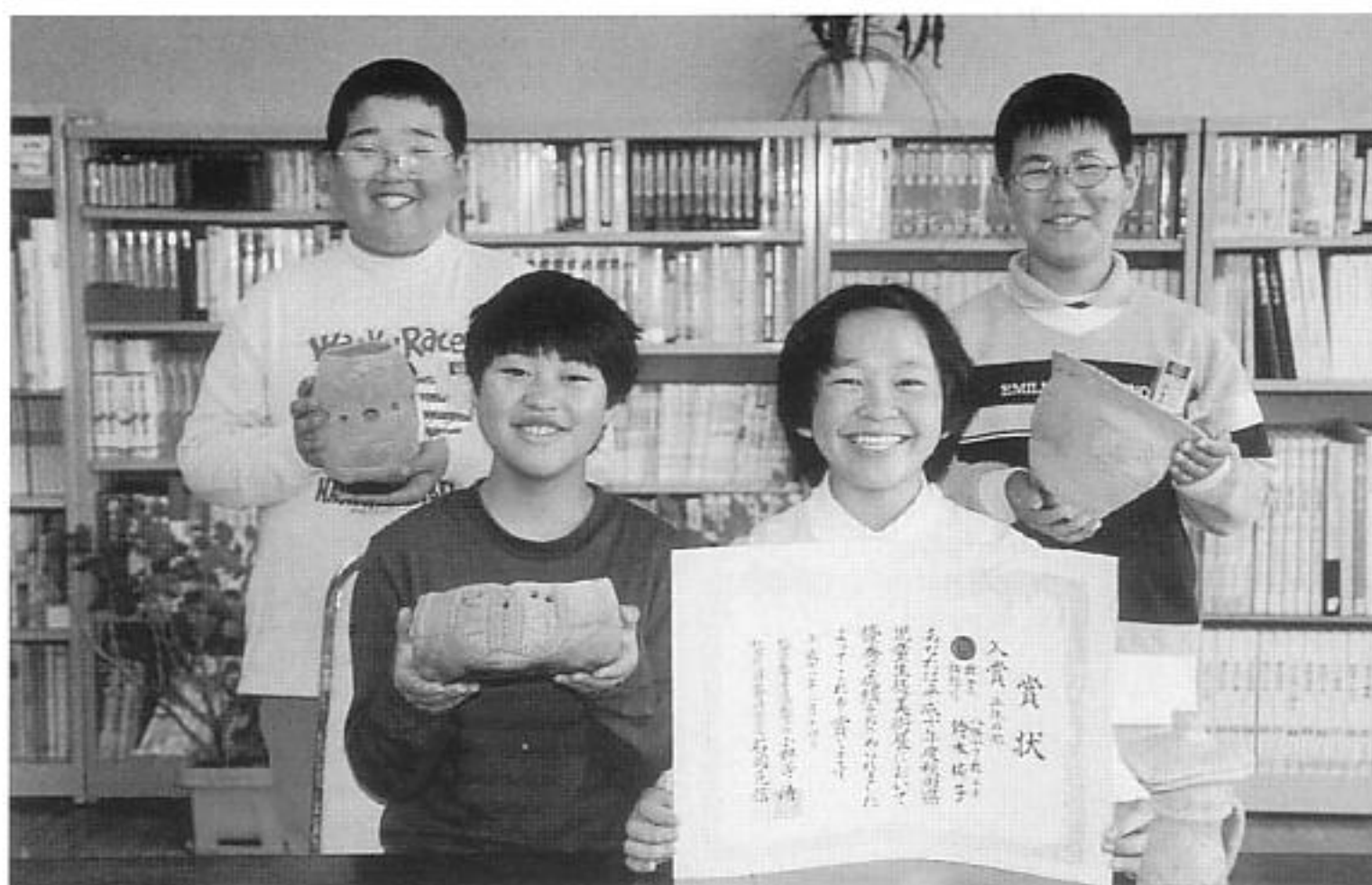
世界に一つの作品が入賞果たす

毎年九月に八塩いこいの森で「全県野焼きを親しむ集い」が行なわれています。この集いは、町内のみならず県内の野焼き愛好者の皆さんが参加、交流を深めています。

町内では八塩小学校五、六年の児童がこの行事に参加、世界に一つの自分の作品を生みだしていますが、この際製作した作品が、第三十九回秋田県児童生徒美術展・

立体の部において入賞を果たしました。特に六年生の鈴木佑子さんの作品「縄文のポット」は話題賞を受賞、秋田さきがけ新聞にも作品が掲載されました。

同校では、「自分なりに創造した壺を立体に表わすことで、縄文時代人の苦勞を追体験、理解できれば」とし、今後も地域の一員として自覚を持てるように指導していきたいとしています。



▲喜びの八塩小児童の皆さん



今回の受賞者は次のとおり。(敬称略・カッコ内は学年)▼話題賞・鈴木佑子(六)▼推薦・小野裕人(六)、佐藤春菜(六)、佐野瞳(六)、横山春希(四)、長谷山裕子(二)、小松貴広(中一)、長谷山恵美(中一)▼入選・八嶋孝宏(六)

◆東由利の文芸◆

(せせらぎ句会)

大人だけ家に居りたる子供の日
武家町のひと日を花に酔ひにけり
たらの芽のほぐれて朝のフライパン
天上に父の声聴く春の雷
鳥海の種まき爺や農始め
花の屑くぼみくぼみにとどまりぬ
みどり児の眠り笑窪や風薫る
色帽子かける園庭風光る
さえずりや厨つぶやく炊飯器

高戸屋 小松 敏雄
山崎 小松 良子
蔵新田 小野 貞子
船木 大庭喜右衛門
湯出野 佐藤 正義
蔵新田 小笠原トミ
中通 小松順之助
蔵 阿部 澄子
時雨山 吉川 葉子

桐下駄の音よみがえり祭来る
桜しべ母校の跡の碑につもる
一歩出で見ゆるかぎりの春情む
ぜんまいを揉みし母の背遠かりし
一湾を占めたる春や稲佐山
更衣晩年人に遅れぬし
登校のペダルもかろく風薫る
灯籠に婚の灯はいる卯月かな
戸を繰れば薫風家に満ち満ちる
白晝浦こはぜはすれし櫓宣の足袋
子の手には甘茶の杓の余りけり
みちのくに花まだ遅し佛生会
たんぽぽの綿毛をとばし車過ぐ

横渡 高橋ヒデ子
横小路 宮野源二郎
小倉 遠藤トミ子
久保 高橋 典三
秋田市 嵯峨 義之
舟打場 高橋民治郎
蔵新田 小笠原亮子
下小路 小松 女沙
横小路 小松 丈介
上里 小野石路子
五海保 嶽石 レイ
家ノ下 小松 正昭
湯出野 小松 徳蔵

99 ナイターテニス教室

ナイターテニスで心地よい汗を流してみませんか

■期日・六月十六日(水) から七月十五日(木) までの毎週水、木曜日
■午後六時三十分から八時三十分
■場所・町民テニスコート
(雨天・げんき館)

■対象・中学生以上で町内に居住または勤務する者(ただし高校生以下は保護者の同意が必要)
■指導者・日本テニス協会公認指導員

■参加料・無料
■申込方法・六月十一日(金)まで公民館へ
(☎六九一二三一一)

アイドルをさがせ!

佐藤諒ちゃん(1歳)
お父さん:誠さん
お母さん:淑恵さん
【律沢】

お話し:トシヨさん



外孫が五人いますがいずれも女の子。待望の内孫は初めての男の子でした。
日中は父母ともに仕事をしていきますので、祖母の私が見ています。周囲に同年代の子どもがいらないのが残念です。
性格は一言でいってしまえば活発な子ども。最近はいろいろなことに興味があるようで、歩けるようになったら外に出たがります。
好きなものは食べ物はどうぞん類、牛を飼っているのも動物も好きかなようです。嫌いなものは特にないです。今、まさに怖いもの知らずです。
家族では特別に誰が好きということはありません。みんなになついています。
将来は、孫も含めてみんなで生活できればいいですね。

六月十日・

時の記念日

「時の氏神」



原爆をテーマにした井伏鱒二の小説「黒い雨」に次の一節があります。広島で被爆した閑間重松は、同じ生き残りの庄吉と、休養と栄養補給の目的で医者に勧められた釣りをしていました。そこへ通りかかった近所のおばさんに「結構な御身分」と皮肉られ、怒ってあわやけんかというとき、急にウキが引っぱられます。

「庄吉さんが竿を立てて引き寄せると、咽の奥まで鉤を呑み込んだ大きな鮒が釣れていた。これが時の氏神となったのは云うまでもない……」

「時の氏神」はちょうどよいときに現われた仲裁役のこと。「氏神」は家、村、氏族の守護神で、「仲裁は時の氏神」も同じ意味のことわざです。

「時の氏神」と同様、「時の花」「時の物」「時」はちょうどよいとき。「時の風」「時の運」はそのときそのときの意で、「時の鐘」「時の太鼓」は時刻を知らせるものを指します。

「時の記念日」は六月十日。わが国初の水時計が設けられた日にちなみ、時刻、時間に対する意識を高める記念日です。

バドミントン部

全県総体に向けて

下郷分校二年

遠藤良恵さん



今月の五日から大曲市を会場にして、バドミントンの全県大会があります。私たちバドミントン部員は、今その大会に向けて練習を頑張っています。私自身が大会を迎えるに当たり心がけていることは次の点です。まず、練習をおろそかにしないこと

です。私は今年入部しました。最初は時間を守りきちんと練習していたのですが、次第にだらだらしてしまい、時間を無駄に過ごしてしまつた時期がありました。総体まで時間が残り少なくなりました。そこで、その時間を大事にしたいと思つています。

もう一つは、注意されたことを素直に聞き、次までには直せるように頑張ることです。私は毎週火曜日と金曜日に町のバドミントン協会の練習にも参加しています。そこでは先輩方と試合をして、悪いところを注意してもらつています。自分では気づかないことがたくさんあるので大変助かつています。

下郷分校のバドミントン部は現在四人です。人数が足りないため団体戦に出られないのが残念です。けれどもその分、ダブルスとシングルスで上位をねらいたいと思つています。

ふるさと むかしむかし

二四

福の神になった貧乏神の子

むかしむかし、朝早くから夜おそくまで働いている夫婦がいました。

どんなに働いても働いても、貧乏から抜けだすことができないので、主人は「これはきつと、家に貧乏神が住んでいるに違いない」と、ある日、むらの物知り（ものしり）に貧乏神を追い出すにはどうしたら良いだろうと、相談をしました。物知りは「生のよもぎで家の中を燻（いぶ）してみろ」とおしえてくれました。

よもぎを焚いた煙（けむり）で家中もつもうとなつたが、貧乏神は一向に出てきません。主人はなで箒（ほうき）や竹の棒で、そこら中をたたき廻るのでした。するとなにやら黒いものが、天井裏のあたりからごろんと、土間に転がり

落ちてきました。「それっ貧乏神だ、たたき出せっ」と追いかけて廻し、天井の煤（すす）で真黒（まっくろ）によごれた貧乏神は「助けてくれえ……」と表へ逃げだしました。

夫婦はびたりと戸をしめきつて「これで貧乏神も追い払ったし、安心したなあ」と喜んでいたら、その晩、トントン、トントンと表戸をたたき音がします。

主人は「あれっ誰か来たようだ。今ごろなんの用だろう」と、戸口を細目（ほそめ）にあけて見ると、なんと昼間（ひるま）に出した貧乏神でした。主人はどなりつけて「また帰ってきたのか。この家には入ってはならぬ。おこたわりじゃ」。すると貧乏神は、涙声（なみだこゑ）で「長いことお世話になりました。これでおいとましますが、あとに残した子どものことをどうぞよろしくお願いしま

のあたりをよく見ると、梁（はり）の上に子どもの貧乏神がちよこんと座（すわ）っています。もともと人のよい主人のこと、土間（どま）におろして貧乏神の子どもをいりりの側に座らせてやるのでした。相変（あひか）わらず貧乏は続くのでしたが、不思議（ふしぎ）なことに貧乏神の子どもとだんだん思わなくなりました。

主人夫婦の暖かい心が通じたのか、貧乏神の子どもも少しずつ仕事のお手伝いをするようになりました。それから長い月日（つきひ）が経（た）った主人の家は、貧乏神の話など忘れてしまひ、裕福（ゆふく）な暮らしの出来る家になつていたのでした。貧乏神の子どもは、福の神になったという事です。

『下小路 小野勝海氏（故人）の語りより再話 文と絵 石渡力造氏』





郷土の野草

東由利

NO.172

ズダヤクシュ

(ユキノシタ科)

文・写真 小松忠正氏

北海道から近畿以東の本州、四国の山野、林地に見られる多年草で、根茎は横に伸び長い匍匐茎を出して伸びます。葉は心臓状円形で五裂し、表裏ともに短毛があります。六月から七月に白色の細長く、先の不整な五弁の小花を下向きにつけます。がくは五裂し、腺毛があり、雄しべ十個の花糸はがく片より長く葯(雄しべ先端の袋)は淡黄色です。ズダというのは木曾地方の方言で喘息のことをいい、咳を癒す薬草というこ

とでズダ薬種という和名になりました。

6月▶データ東由利

〈4/1〜/30〉

住民基本台帳人口 () は前月比

- 男.....2,523人 (△2)
- 女.....2,657人 (△8)
- 計.....5,180人 (△10)
- 世帯数.....1,388戸 (0)

() は1月からの累計

- ・出生3人(10)・死亡7人(27)
- ・転入10人(40)・転出16人(65)

- 火災出動.....0件(2)
- 救急出動.....15件(67)
- 交通事故.....0件(3)
- ・死亡.....0人(0)
- ・傷者.....0人(1)
- 飲酒運転.....0人(1)
- 酒気帯び.....0人(0)

6月の行事予定

- 5 東由利町特別番組
AKT (午後0時30分〜)
- 9 大さなぶりまつり
(健康増進センター)
- 9 議会定例会
- 17 自治会長研修
- 18 敬老会、70歳を祝う会
(健康増進センター)
- 20 町スポーツ祭
(トラック&フィールド)
- 30 町畜産共進会 (畜産広場)



ほっとひといき

5月はたくさんの行事が目白押し。黄桜まつり、植樹祭、東京東由利会など、忙しい日々が続きましたが、実に充実していたと思います。また、忙しければ忙しいほど空いた時間をうまく使おうと努力することができました。よく、暇でやることがないという人がいますが、惜しいですね。人生は長いように見えて案外短いものです。将来後悔しないように今できることを一生懸命がんばりたい、そう思った5月でした。(さ)

大さなぶりまつり

毎年恒例の大さなぶりまつりが今年も行なわれます。多数のご来場をお待ちしております。

日時..六月九日(水) 開場午後六時/開演午後六時三十分
会場..健康増進センター
出演..創作太鼓
・RANDO【蘭導】
・民謡
・川崎マサ子・王藤正蔵
・藤原美幸
■総合司会・阿部十全



王藤正蔵



藤原美幸

RANDO

創作和太鼓と民謡の夕べ

川崎マサ子



社会福祉協議会に遠藤一男さん(野田)、阿部清作さん(杉森)、渡辺俊治さん(田代)、(協)シヨッピンクラブザぶれつそ、小松聖さん(須郷田)、丸建設(有)代表取締役長谷山丸さん(神奈川県)、大沼武且さん(蔵)、斉藤幸一さん(石高)、小野貞一さん(蔵新田)からご芳志が届けられました。また広報送付謝礼として石渡鉄信さん(北上市)から金一封が届けられました。

まごころ